



エコパートナーシップうじたわら

うじたわらの木くん

～茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまら～

発行日：平成 28 年 6 月 5 日（第 62 号）

編集・発行：エコパートナーシップうじたわら広報部会

事務局 TEL (88) 6639 FAX (88) 3231

平成28年度総会を開催します

6月12日（日）午後2時

宇治田原町総合文化センター研修室1

エコパートナーシップうじたわらは、住民・事業者・行政が協働で「宇治田原町環境保全計画」を推進するため、平成16年に設立された団体です。3つの部会が環境学習やエコクッキング、会報誌の発行などの活動を行っています。

このたび総会を開催し、昨年度の活動報告や今年度の事業計画について審議し、講師をお迎えしての講演会を開催します。どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお越しください。

参加者には記念品を贈呈します。

- ・ 基調講演：テーマ「生物多様性の保全」
- ・ 講師：津村昭夫氏（KES 環境機構専務理事）



日本電池㈱（現・㈱GSユアサ）において環境管理センター長としてISO14001を構築・運用する。その傍ら、京都工業会の環境委員長を務め、京のアジェンダ21フォーラムの常任幹事として2001年「KES認証事業部」を立上げ、認証事業部長に就任。

2007年4月「NPO法人KES環境機構」を創設、専務理事に就任。

KES 環境機構とは、1998年に設立された「京のアジェンダ21フォーラム」を母体とし、中小企業向けに「京都環境マネジメントシステム・スタンダード（略称 KES）」を策定、事業者や団体への認証審査を行っています。

また、生物多様性保全の取り組みとして、生息数が減少している植物の苗を育てて生息地に返す「KES エコロジカルネットワーク」にも取り組んでいます。

町内でも KES 環境マネジメントシステムの認証審査を受けた企業があります。

平和堂財団「夏原グラント」から助成を受ける

エコパートナーでは、今年度から新たに町内の野生生物や地質などの調査を行い、今後の生物多様性保全のための基礎資料作りに取り組みます。そこで、活動資金として、公益財団法人平和堂財団が創設した「夏原グラント」に応募し、審査を経て助成金の交付を受けることになりました。

「夏原グラント（補助金、寄付金という意味）」とは、滋賀県内及び京都府内で活動する学生団体や住民団体が実施する環境保全活動に対する助成金で、書類選考による1次審査、審査員を前にプレゼンを行う2次審査を経て、採択された団体に交付されます。

エコパートナーでは、3月13日の2次審査に参加した阪本副会長が活動の趣旨や計画について説明し、4月16日に行われた助成金の贈呈式では、平和堂財団の夏原平和理事長から目録を受け取りました。

今後は今年度の活動計画を作成し、広く参加者を募って調査を実施する予定です。

参加者の募集についてはあらためてお知らせします。
（写真は助成金贈呈式にて、阪本副会長（左）と夏原理事長（右））



宇治田原の外来生物（ブラックリスト）

自然の豊かな宇治田原町には希少な野生生物が生息していますが、一方では、外国から持ち込まれ、生息数を増やすことで従来の生態系に影響を与える外来生物が頻繁に目撃されています。希少生物の一覧「レッドリスト」に対してここでは仮に「ブラックリスト」と呼ぶことにします。

動物ではアライグマやヌートリアがすっかり有名になりましたが、植物では身近で普通に見られる草花も、実は外来種だった、ということも珍しくはなくなりました。こうしたものは驚異的な繁殖力で広がり、本来生息していた植物を圧倒する力を持っています。



左から、ナガミヒナゲシ、オオキンケイギク、オランダガラシ(クレソン)

エコパートナーシップうじたわらの会員募集

エコパートナーシップうじたわらでは、いっしょに活動する会員を募集しています。

肩ひじ張らず、気軽に、自分のできる範囲で参加するのがエコパートナーの特徴です。関心のある方は役員や会員、事務局までお気軽にお申し出ください。

◆会員の区分

- ・個人会員＝町内にお住まいか、町内の事業所にお勤めで環境に関心のある人
- ・団体会員＝町内で活動する団体及び法人
- ・賛助会員＝本会の趣旨に賛同し、活動を支援する個人・団体及び法人

◆会費

- ・個人会員・団体会員については、無料です。
- ・賛助会員については、活動支援金として年額1口5,000円の会費を募ります。

◆入会の方法

- ・入会申込書（町HPエコパートナーのコーナー）に必要事項を記入し、事務局に申し込んでください。

◆部会

- ・広報部会・会報誌の発行、活動報告書の作成、イベント等の啓発
- ・自然・生活環境部会・河川や動植物の学習会、自然環境体験ハイキング開催
- ・循環型社会・地球温暖化防止部会・生ごみ処理機の普及啓発、環境家計簿の普及等、エコクッキング教室等

エコパートナーシップうじたわら賛助会員

宇治田原工業団地管理組合、協栄開発株式会社、株式会社宇治田原製茶場、宇治田原町区長会、
J A 京都やましろ宇治田原町支店、宇治田原町森林組合、株式会社馬場義電気、株式会社播磨園製茶、
米田造園土木株式会社、有限会社富山資源開発、宇治田原町商工会、宇治田原新聞サービス本舗株式会
社、濱田プレス工藝株式会社、宇治田原町
(敬称略・順不同)

お問い合わせ先：エコパートナーシップうじたわら事務局（宇治田原町建設事業部建設環境課内）

〒610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出 10

TEL 0774-88-6639 FAX 0774-88-3231 Eメール：junkan@town.ujitawara.kyoto.jp

会報のバックナンバーをご覧いただけます

宇治田原町役場ホームページ「トップ」⇒「環境衛生」⇒「エコパートナーシップうじたわら」

エコパートナーシップうじたわら facebook ページ公開中



茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまち 宇治田原